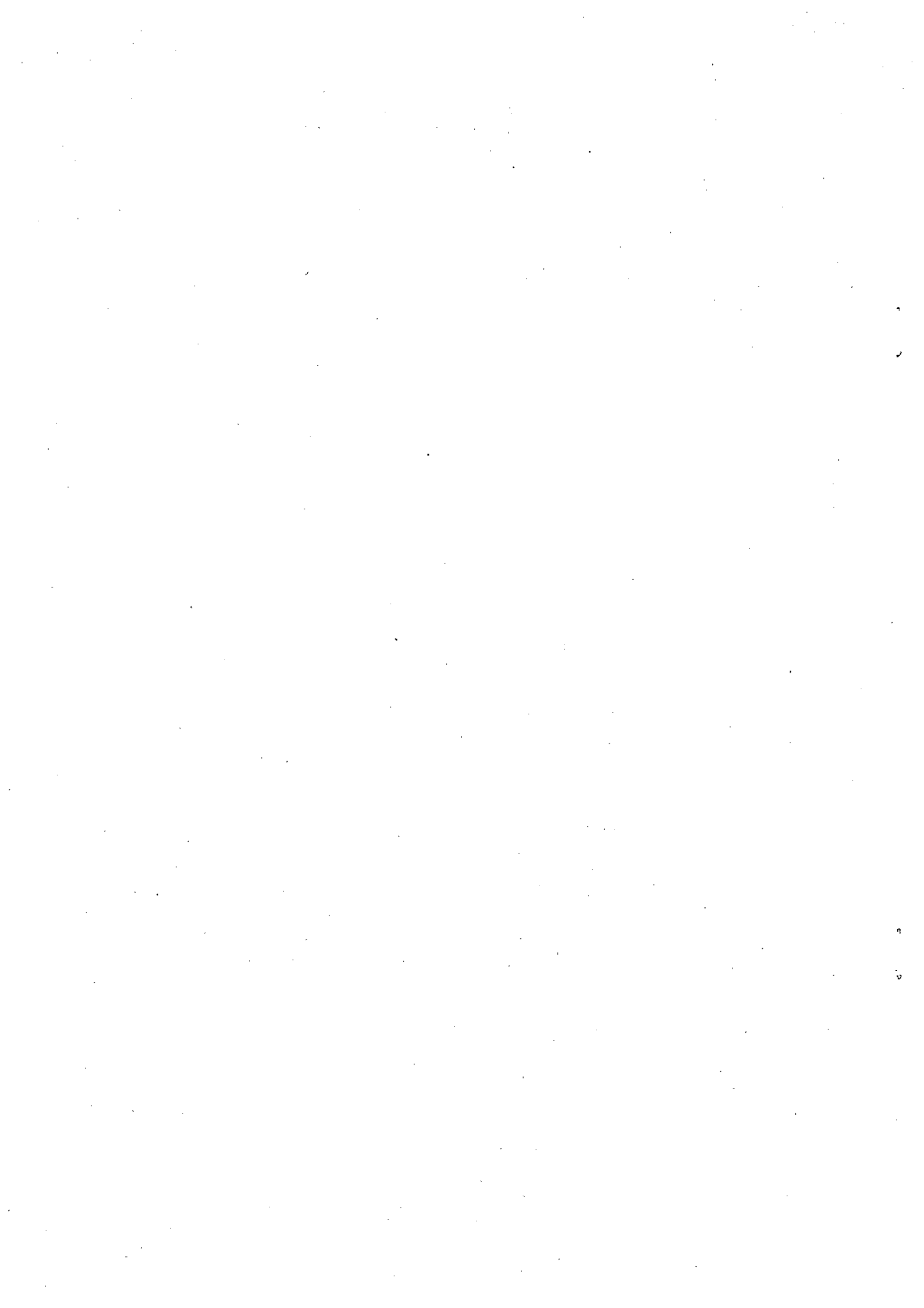


# 農林水産商工常任委員会資料

(平成27年7月21日)

項目	ページ
1 株式会社ササヤマの工場設備増設に係る調印式について 【立地戦略課】……………1	1
2 環日本海定期貨客船航路の最近の状況及びロシア沿海地方経済団の来県 について 【通商物流課】……………3	3
3 正規雇用1万人チャレンジに関する商工分野の関係団体との意見交換会 について 【就業支援課】……………4	4
4 倉吉グンゼ株式会社の事業所閉鎖に伴う緊急雇用対策会議について 【就業支援課】……………5	5
5 「鳥取県ふるさとハローワーク境港」のリニューアルについて 【就業支援課】……………6	6
6 同志社大学との就職支援に関する連携協定の締結について 【就業支援課】……………7	7
7 フランス・ジャパンエキスポとミラノ国際博覧会の出展結果について 【販路拡大・輸出促進課】……………8	8
8 「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券の発行とPRイベントの 開催結果について 【販路拡大・輸出促進課】……………11	11

商 工 労 働 部



# 株式会社ササヤマの工場設備増設に係る調印式の実施について

平成27年7月21日  
立地戦略課

株式会社ササヤマ（本社：鳥取市）が、事業の拡大に伴い、工場設備の増設を行うこととなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で協定書の調印式を行いました。

## 1 企業概要

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 名称       | 株式会社ササヤマ  |
| (2) 代表者      | 代表取締役 笹山 勝（ささやま まさる）  |
| (3) 本社所在地    | 鳥取市千代水四丁目36番地   |
| (4) 資本金      | 20,000千円  |
| (5) 売上額      | 858百万円（平成26年7月現在）   |
| (6) 従業員数     | 51人（平成27年7月現在）  |
| (7) 事業内容     | 精密プレス金型設計製作   |
| (8) 今後の事業見通し | 25年7月期以降、自動車関連の受注拡大により黒字を維持しており、この度、独立系自動車部品メーカーである日本発条株式会社と資本提携を行い、新たに難加工材を使用した自動車部品市場に参入するものであることから、今後も好調な業績が期待できる。 |

## 2 立地計画概要

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 増設場所 | 布袋工業団地（鳥取市河原町布袋）                               |
| (2) 事業内容 | 日本発条株式会社と提携し、難加工材を使用した自動車部品製造のための先進的大型金型開発を行う。 |
| (3) 雇用計画 | 37名（正規雇用者37名）                                  |
| (4) 投資規模 | 約11億円  |
| (5) 操業開始 | 平成28年8月（予定）                                    |

※日本発条株式会社（本社：神奈川県横浜市）  
…自動車部品大手メーカーとして、懸架ばね製造（懸架ばね世界シェア1位）、シート部品製造、精密部品製造等を行う。

## 3 企業立地支援の見込み

鳥取県 企業立地事業補助金	鳥取市 企業立地促進補助金	合計
4億4,000万円	1億1,000万円	5億5,000万円

（※その他：正規雇用奨励金による支援予定）

## 4 調印式

- |         |                             |       |  |
|---------|-----------------------------|-------|--|
| (1) 日時  | 平成27年7月9日（木）14時00から14時45分まで |       |  |
| (2) 場所  | 知事公邸 第一応接室                  |       |  |
| (3) 出席者 | 株式会社ササヤマ 代表取締役              | 笹山 勝  |  |
|         | 鳥取市 市長                      | 深澤 義彦 |  |
|         | 鳥取県 知事                      | 平井 伸治 |  |



※今回の調印式は、株式会社ササヤマが精密金型製造技術を活かして新しい材料に対応した技術研究を行い、新たに自動車シート部品等の市場獲得を目指す事業であることから、「ニッチトップ加算」の第2号として認定。

### 「ニッチトップ加算」について

県内に本社を有するとともに、県内において7年以上事業を継続する中小企業が行う事業のうち、「事業者が独自技術を活用し、新たな需要獲得及び雇用拡大を行う事業」として知事が特に認めるものについて認定するもの。

## 協 定 書

株式会社ササヤマ（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び鳥取市（以下「丙」という。）は、甲の工場等の増設（以下「増設事業という。」）について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり増設事業を行うものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める増設事業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、増設事業にあたり、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲は、従業員の採用に当たっては、鳥取市在住者を中心として、鳥取県内在住者及び鳥取県内へのUIJターン者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲は、事業に当たっては、鳥取県内企業への受発注に努めるものとし、また、操業開始後においても、鳥取県内企業との積極的な取引に努めるものとする。

第6条 甲が別紙1のとおり行う増設事業に対し、乙及び丙は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第7条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第8条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成27年7月9日

甲 鳥取県鳥取市千代水四丁目36番地 株式会社ササヤマ 代表取締役 笹山 勝

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県 鳥取県知事 平井 伸治

丙 鳥取県鳥取市尚徳町116番地 鳥取市 鳥取市長 深澤 義彦

(別紙1)

### 増 設 計 画 概 要

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 1 事業所の名称 | 株式会社ササヤマ                      |
| 2 所在地    | 鳥取市河原町布袋（布袋工業団地）他             |
| 3 操業開始   | 平成28年8月                       |
| 4 事業内容   | 難加工材を使用した自動車部品製造のための先進的大型金型開発 |
| 5 雇用計画   | 37名                           |

(別紙2)

- 鳥取県の支援
  - 鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
  - 働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- 鳥取市の支援
  - 鳥取市企業立地促進要綱（平成14年9月4日制定）に基づく支援

# 環日本海定期貨客船航路の最近の状況及びロシア沿海地方経済団の来県について

平成27年7月21日  
通商物流課

## 1 DBSクルーズフェリー（株）代表理事副社長と知事の面談について

7月10日にDBSクルーズフェリー（株）尹奎漢（ユンギョハン）代表理事副社長が来県し、環日本海定期貨客船航路の隔週舞鶴追加寄港及び現状等について、平井知事に説明がありました。

（尹代表理事副社長）

隔週舞鶴追加寄港は、貨物収益を補うことにより航路の安定化を図るためであり、既存境港航路には全く影響がないものと考えている。これまで鳥取県との信頼関係で運航を続けてきており、今後も引き続き運航を継続していく。

（平井知事）

既存境港航路の安定化に向けて、京都府との協力も検討しながら新たな貨物の確保に向けて取組むとともに、MERSの影響により催行が1回のみとなったDBSとアジアナ連携旅行商品による誘客も継続して取組んでいく。

（尹代表理事副社長）

舞鶴－東草－ザルビノ新規航路開設に向けて継続して検討を行っているが進展していない。

## 2 環日本海定期貨客船航路を利用した原木の初輸出について

日韓間の新たな輸出貨物として、初めて境港から江原道東海市向けに、県内商社が原木（スギ、ヒノキ）をサンプル輸出することになりました。初輸出にあたり関係者が初荷セレモニーを開催します。

- ・日 時 平成27年7月31日（金）予定
- ・場 所 境港国際旅客ターミナル内
- ・参加者 荷主企業、運航会社、経済団体、行政関係者等
- ・内 容 関係者挨拶及びテープカットなど

## 3 ロシア沿海地方経済団の来県について

本県とロシア沿海地方の経済交流を促進するため、以下のとおりロシア沿海地方経済団が来県します。本訪問を端緒として、幅広い分野の個別ビジネス案件創出の促進及び沿海地方で進行中の「経済プロジェクト」を絡めた互恵的経済関係の構築を目指します。

（1）期 間 平成27年7月26日（日）から30日（木）まで

（2）訪問団 12名（沿海地方行政府国際局、沿海地方投資誘致局、沿海地方輸出促進センター、沿海地方商工会議所、ロシア企業（廃棄物、水産加工、建材企業等））

（3）内容

### ①「貿易投資の発展に向けた協力協定」調印式（27日（月）米子）

- ・調印者：日本側（鳥取県商工労働部長、ジェットロ鳥取所長）  
ロシア側（沿海地方投資誘致局、沿海地方輸出促進センター）の4者。
- ・内 容：貿易投資に関する情報交換、貿易投資に関する課題解決に向けた実務者会議の開催、経済ミッション派遣等についての協力など

### ②沿海地方経済代表団による貿易投資セミナー及び商談会（27日（月）米子、29日（水）大阪）

- ・内 容：沿海地方の「経済プロジェクト」及び「経済特区」及び日本側と協力したい案件に関するプレゼンテーションの後、今後の協力可能性について意見交換する。また、個別企業からのプレゼンテーションの後、日露双方の企業による商談会を実施する。
- ・主 催：鳥取県、沿海地方行政府
- ・共 催：ジェットロ鳥取、関西広域連合、環日本海経済活動促進協議会

### ③視察・面談等

- ・県内の廃棄物処理、漁業残渣処理及び水産加工に関する企業を視察予定。
- ・本県及び関西地域の経済団体との面談について調整中。

## 正規雇用1万人チャレンジに関する商工分野の関係団体との意見交換会について

平成27年7月21日  
雇用人材局就業支援課

4年間で1万人の正規雇用創出を目指す「正規雇用1万人チャレンジ計画」の策定に向け、現場の課題、正規雇用に向けた提案等について商工分野の関係団体から意見聴取を行いました。

- 1 日時 平成27年7月8日(水) 午後2時～4時
- 2 場所 とりぎん文化会館第3会議室
- 3 参加機関  
商工関係団体 : 鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、  
鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会  
労働関係団体 : 日本労働組合総連合会鳥取県連合会、鳥取県職業能力開発協会、  
ふるさと鳥取県定住機構、鳥取労働局  
教育機関 : 鳥取大学、鳥取環境大学、米子工業高等専門学校  
鳥取県 : 岡村商工労働部長、高橋雇用人材局長ほか関係所属職員

#### 4 議題

- (1) 正規雇用1万人チャレンジについて(現状分析、検討課題、推進体制、スケジュール等)
- (2) 正規雇用1万人に向けての課題、提案について

#### 5 主な意見

##### <商工団体>

- 景気がよくなり就職フェア等への参加学生が減少し中小企業は人材確保が困難(特に理系学生)。学生の親へのアプローチも必要。
- 少子化で県内の需要だけでは困難。新しい事業分野を拡大し首都圏等に鳥取ブランドを売り込む必要がある。
- 零細企業は特に正規雇用は慎重。県の施策はきめ細かく心強いが零細企業が使えるようさらに配慮が必要。

##### <労働団体>

- 労働者を大切にされた労働環境の整備をセットにして正規雇用1万人を達成することが必要。

##### <高等教育機関>

- COC+ (文部科学省事業) でインターンシップ等の充実を図り県内就職率を上げたい。鳥大の県内出身学生は18%だが、そのうち75%は地元定着。県教委は県内大学への進学を増やして欲しい。
- 高専生の地元就職は2割弱で優秀な学生は県外流出、卒業生ネットワークで県内へのUターンを進めたい。

#### 6 今後の予定(案)

各部局と連携し、関係団体、正規雇用で意欲的な事業者等から積極的に意見聴取して、チャレンジ計画に反映させる。

正規雇用1万人チャレンジ推進会議を8月中に立ち上げ、11月を目途に計画を策定する。

- 7～8月 各部局と協力し、関係団体、意欲的な事業者等から意見聴取
- 8月上旬 第2回正規雇用1万人創出チーム会議【庁内会議】
- 8月下旬 第1回正規雇用1万人チャレンジ推進会議【各分野の代表者、知事】  
(現場の課題をもとにチャレンジ計画の内容について意見交換)
- 8～9月 各部局と協力し、関係団体、意欲的な事業者等から意見聴取
- 10月 第3回正規雇用1万人創出チーム会議【庁内会議】
- 11月 第2回正規雇用1万人チャレンジ推進会議【各分野の代表者、知事】  
(チャレンジ計画の策定。一体的推進について意思統一)

# 倉吉グンゼ株式会社の事業所閉鎖に伴う緊急雇用対策会議について

平成27年7月21日  
雇用人材局就業支援課

倉吉グンゼ株式会社（倉吉市）の事業所閉鎖に伴う雇用状況への影響を踏まえて、緊急雇用対策会議を開催しました。

- 1 日 時 平成27年7月10日（金） 午前9時30分から午前10時まで
- 2 場 所 倉吉市役所議会会議室（3階）（倉吉市葵町722）
- 3 議 題 (1) 倉吉グンゼ株式会社の事業所閉鎖に伴う離職者対策について  
(2) 圏域別の誘致・県内企業の雇用計画等について
- 4 出席者

区 分	機 関 名	役 職	氏 名
商工団体	倉吉商工会議所	専務理事	佐々木 敬宗
労働団体	日本労働組合総連合会鳥取県連合会	会長	五十嵐 美知義
金融機関	株式会社山陰合同銀行	倉吉支店長	山本 浩一
	株式会社鳥取銀行	倉吉支店長	中山 貴彦
	倉吉信用金庫	理事長	谷岡 忠範
支援機関	(公財)産業雇用安定センター鳥取事務所	鳥取事務所長	東原 正
行政機関	鳥取労働局	職業安定部長	森本 英晶
	倉吉公共職業安定所	倉吉公共職業安定所長	前田 誠司
	倉吉市	市長	石田 耕太郎
	鳥取県	副知事	林 昭男

## 5 内容

- (1) グンゼ(株)からの報告 ※従業員の内訳（男14人、女58人（正社員67人、契約社員5人））
  - ①11月20日に事業所閉鎖に向けて、従業員72人の意向調査を実施。  
⇒・グンゼ系列の県外事業所での就職希望者は9人（兵庫県4人、岡山県5人）。ただし、地元就職が決まれば地元就職を優先したい意向。  
・その他の従業員は、家庭の事情もあり、地元での再就職を希望。
  - ②倉吉グンゼから地元企業への下請けはないため地元企業に対する影響はほぼない。
  - ③跡地利用については未定だが地元とも調整したい（グンゼ開発が管理）。
- (2) 離職者等への支援対策  
特別相談窓口設置、求人開拓、求人情報提供、労働移動受入奨励金による再就職促進等
- (3) 出席者からの主な意見

倉吉商工会議所	・跡地の活用について、地元のご意見ご意向を聞きながら、できることをやっていきたい。
連合会	・連合というよりも産業別労働組合の指導で大阪で条件闘争をやっている。できれば中部で働きたい。その意味では、執行委員会に要請したいと思う。
山陰合同銀行 鳥取銀行	・年齢的にも一家の家計の支えとなっている方が多い。貸付の条件変更等に柔軟に対応する体制を整えていきたい。
倉吉信用金庫	・倉吉グンゼの方は鍛えられた社員であり技術的にも高い能力を持っておられるので、そこをアピールしていけばプラスになる。
倉吉職業安定所	・倉吉グンゼの方を受け入れたいという企業が5社ある。
倉吉市	・いろいろな制度があるので、従業員の方々等に十分お届けいただいて、これからのキャリア設計をできるように対応していただきたい。 ・アパレル関係の企業もあるので、雇用を増やしていただくよう働きかけをしていきたい。

## (4) 会議終了後の対応

- ①中部総合事務所内に「倉吉グンゼ離職者の再就職等に関する特別相談窓口」を設置した。
- ②当該窓口では、ハローワーク、若者仕事プラザ、ミドル・シニア仕事プラザ、レディース仕事プラザ等と連携し離職者支援を実施している。
- ③会議終了後、商工労働部長が縫製業等地元企業を訪問し受入要請を行った。

## 「鳥取県ふるさとハローワーク境港」のリニューアルについて

平成27年7月21日  
雇用人材局就業支援課

鳥取県ふるさとハローワーク境港では、施設をリニューアルして新たに雇用保険業務を開始し、更なる就業支援の充実とワンストップサービスを進め、地域の皆様の利便性の向上と機能の強化を図ることになりました。

### 1 施設リニューアルの内容

#### (1) 施設の改修

- ア 施設面積 約74㎡から約141㎡へ増床（狭あい化も解消）
- イ 情報提供端末 求人検索パソコンを5台から8台へ増設など
- ウ その他設備 空調機器設備改修、プライバシー確保のためのパーテーション設置等

#### (2) 雇用保険給付業務

- ア 開始日時 平成27年7月21日（火）9時30分～
- イ 実施方法 ハローワーク米子職員・相談員（2名）による巡回業務
- ウ 実施日及び時間 火曜日及び金曜日の週2日（祝日等の閉庁日を除く。）  
午前9時30分から午後4時15分
- エ 新たな実施業務 雇用保険失業給付金等の受給資格決定業務、認定給付業務、教育訓練給付金・就職促進給付金等の給付業務、その他雇用保険給付に関する相談業務全般

#### <施設概要>

名 称	鳥取県ふるさとハローワーク境港
設置場所	境港市上道町3000 境港市役所別館1階
開 所	8時30分～17時15分（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
機 能	【県】 就業支援員(2名)による就業支援、職場定着支援、出張相談 【国】 職員(1名)、相談員(2名)、求人者支援員(1名)による職業相談・職業紹介、求人情報検索機設置、7月21日から雇用保険給付業務開始（職員2名巡回配置）

#### (3) 経 緯

鳥取県ふるさとハローワーク境港は、平成20年4月から境港市役所別館に設置され、ハローワーク職員と鳥取県の就業支援員が職業相談・職業紹介、求人情報及び労働市場情報の提供など様々な就業支援の取組を行っている。

### 2 リニューアルセレモニー

(1) 日 時 平成27年7月21日（火） 午前11時15分から11時45分まで

(2) 場 所 鳥取県ふるさとハローワーク境港

(3) 出席者

鳥 取 県	鳥取県副知事 林昭男、鳥取県西部総合事務所長 山根淳史
鳥取労働局	鳥取労働局長 河野純伴、鳥取労働局職業安定部長 森本英晶 米子公共職業安定所長 花倉隆
境 港 市	境港市長 中村勝治、境港市産業部長 伊達憲太郎
来 賓	厚生労働省職業安定局次長 勝田智明 境港商工会議所会頭 堀田收

(4) 次 第

- ア 開 式
- イ あいさつ（鳥取県副知事、鳥取労働局長、境港市長）
- ウ 来賓祝辞（厚生労働省職業安定局次長）
- エ くす玉開披
- オ 閉 式



# 同志社大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成27年7月21日  
関西本部  
雇用人材局就業支援課

関西における県出身学生等のI・J・Uターン就職を推し進めるとともに、鳥取県の地域経済を支える人材の育成及び確保を図るため、このたび同志社大学（京都市上京区）との就職支援協定を7月中に締結することとなりました。

## 1 協定の目的・狙い

(1) 同志社大学に在籍する鳥取県出身の学生は117名（H26.4現在）あり、関西圏の大学では3番目に多い。

また、理工学部・スポーツ健康科学部・生命医科学部といった理系学部を有しており、Uターン就職率の低い理系学生への働きかけに資するものとなる。

(2) 同大学の学生数は29,000名余り（H26.5現在；大学院含む）と、関西圏の私立大学では立命館大学、近畿大学、関西大学に次いで多く、県出身学生その他、Iターンを希望する他地域出身学生への波及効果も期する。

## 2 協定内容及び取組み

協定は県、大学及び（公財）ふるさと鳥取県定住機構の3者で締結し、学生に対してはより直接的かつ密接的な情報発信や支援体制で取り組む。

(1) 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること

…県出身学生へのメール配信等による直接的な情報発信、情報提供

(2) 大学学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催に関すること

…学内就職相談会、企業ガイダンスの実施

(3) 学生の就職に係る情報交換及び実績把握に関すること

…県内出身学生（入学、就職時）の数値情報、傾向等の提供

(4) その他学生のIターン・Jターン・Uターン就職促進に関すること

…企業と大学の担当者との情報交換会への開催

## 3 その他（参考）

(1) 同志社大学について

・1875年（明治8年）、新島襄が京都寺町に「同志社英学校」を開校。「自由」と「良心」に立ち、キリスト教主義教育、自治自立の精神、国際感覚豊かな人物の育成を教育理念とする。

その後、改称や再編等を経て、1920年（大正9年）に大学令に基づく「同志社大学」として開校。

・これまでに広島県、愛媛県、徳島県、香川県、岡山県、高知県との就職支援協定を締結しており、都道府県との協定は鳥取県が7例目。

(2) 関西圏の大学との協定について

本県と関西圏の大学との協定締結状況は以下のとおり。

区分	大学名（締結時期）
包括協定	龍谷大学（H22.7）、京都女子大学（H27.6）
就職支援協定	神戸学院大学（H26.2）、立命館大学（H26.7）、 武庫川女子大学・同短期大学部（H26.7）、関西大学（H26.11）

・引き続き関西圏の大学のさらなる連携・協力を得て、鳥取ゆかりのネットワーク等の活用も図りながら、地域経済を支える人材の育成及び確保の強化に努めるものとする。

(3) 就職支援事業について

県外に進学する高校生のおよそ4割（750名程度）は関西圏の大学等に進学しており、龍谷大学との包括連携協定に基づく「関西圏人財確保モデル事業」の成果や、関西圏への大学の協力を得て実施したUターン就職率の調査結果等を踏まえ、大学との連携協定に基づく就職支援事業は県内への人材確保において有効と認められる。

## フランス・ジャパンエキスポとミラノ国際博覧会への出展結果について

平成27年7月21日  
まんが王国官房  
販路拡大・輸出促進課

世界でも有数の日本文化紹介イベントである「ジャパンエキスポ」と、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマにミラノで開催中の「ミラノ国際博覧会」に参加し、まんが王国とっとりや食のみやこ鳥取県など本県の観光や物産をアピールしました。

### 1 ジャパンエキスポの概要

#### (1) 鳥取県ブース出展概要

- ア 開催期間 7月2日(木)～5日(日)
- イ 開催場所 パリ ノール・ヴィルバント展示会場
- ウ 来場者数 24万7千人(昨年度:5日間で24万人)
- エ 出展内容 谷口ジロー、水木しげる、青山剛昌の3巨匠を中心とした「まんが王国とっとりブース」において、華貴婦人のピンク華麗、梅酒「野花」などの県内産品を出展
- オ 会場の状況 ・谷口ジロー先生のファンは「僕はジローの本を持っている」と話しかけてくるなど認知度が高い。また、やはりコナンは認知度が高かった。  
・特にカレーやラーメンはまんがとの親和性が高く、親しみを持ってもらえた。

#### (2) ステージイベント

- ア 期日 7月4日(土) 12:00～17:00のうち、20分間
- イ 会場 YUZU ステージ(約1千人)
- ウ 概要

ステージイベント「NEO JAPONISM」に知事が出演し、鬼太郎君とコナン君とともにフランス語で鳥取県の魅力をPRした。鳥取県のまんが王国としての魅力に加え、自然や物産、食のみやこを説明した。フランス語で「真実はいつもひとつ。鳥取は素晴らしい。」とコナン君の決め台詞を交えたときなどに聴衆の喝采が起きた。

※このステージは、フランスのCATV「NOLIFE」と同テレビ局で放送されている日本紹介番組「Japan in Motion」・「ESPRIT JAPON」がコラボレーションをして開催したイベント

#### (3) フランスメディアでのPR

知事がフランスのラジオ番組「JAPAN FM」の公開生中継に参加。アーティストのピンク・ベイビーズとともに、まんが王国とつとりをはじめとしたクールトットリの魅力を伝えた。

※「JAPAN FM」とは、フランス、ベルギー、カナダで放送されているラジオ。J-POPやアニソンなど、若い世代を対象に主に日本のサブカルチャーを紹介している。

#### (4) 鳥取県産品の商談会

日本料理店「Maizon Kaiseki」「Sachi」「Sous les cerisiers」、お好み焼き「ATSUATSU」、日本食品輸入業者「京子食品」「UMAMI」などを訪問し、梅酒「野花」やネギマンラーメン等のプレゼンテーションを行った。興味を持っていただいたところは、出展業者がそのまま引き続き交渉を継続。



## 2 ミラノ国際博覧会

### (1) ステージイベント

ア 開催日時 7月6日(月) 正午から午後1時まで(現地時間)

イ 開催場所 日本館イベントステージ

ウ イベント内容

- ・知事による鳥取県の紹介スピーチ
- ・鳥取地酒の鏡割り(知事、鳥取県酒造組合岡空会長、和歌山県職員2名、鬼太郎、コナン)と岡空会長による地酒の魅力の紹介
- ・食、観光、まんが等鳥取県の魅力を映像で紹介
- ・クイズ形式による鳥取県の特産品等の紹介、鬼太郎、コナンとの写真撮影会、スイカ、らっきょうの試食と地酒の試飲

エ 来場者数 約100人

オ 来場者の反応

- ・知事のイタリア語スピーチに多くのイタリア人観衆がうなづいたり笑ったりして大好評であった。特に、「真実はひとつ」のポーズで「鳥取においてください」というフレーズに大きな拍手と歓声があった。
- ・その他のイベントも多くの観客が興味深く見入っていた。
- ・スイカ、らっきょうの試食、地酒の試飲は好評であった。
- ・多くの方が笑顔で楽しんでおり、世界に向けた鳥取県の情報発信ができた。

### (2) ジャパンサローネ鳥取県ブースでの知事によるトップセールス

ア 開催日時 7月6日(月) 午後3時10分から3時30分まで(現地時間)

※展示自体は7月5日(日)から9日(木)までの5日間

イ 開催場所 ミラノ市内 ステッリーネ宮殿

ウ 鳥取県の出展内容

- ・食の展示(らっきょう、地酒、梨ジュース、スイカ、ピンクカレー等)
- ・民芸品の展示(因州和紙ランプ、淀江傘、バルコスバッグ、伯州綿製品等)
- ・観光PR(三徳山、三朝温泉、鳥取砂丘、大山、山陰海岸等)
- ・まんがPR(鬼太郎・コナングッズ、グッドスマイルカンパニーフィギュア等)
- ・映像による鳥取県の紹介

エ 来場者数 約100人(7月6日の総来場者数は1,358人(ジャパンサローネ実行委員会事務局資料))

オ 来場者の反応

- ・らっきょう、スイカ、の試食、地酒の試飲が好評で「美味しい」と絶賛していた。特に、スイカは好評で来場者の方々は笑顔で嬉しそうに食べていた。
- ・バルコスのバッグのデザイン、機能等が来場者に大変好評であり、「いくらするの?」、「いつから、どこで販売するの?」という問合せが多数あった。

※ジャパンサローネとは、ミラノ万博に合わせて、日本館協賛企業や自治体が出展し、展示・試食などの情報発信を行うイベント。



### 3 今後の展開

- まんがの認知度を活かした観光PRや物産振興について、今回の取組を踏まえ、ヨーロッパにおける本県の効果的・継続的な情報発信の実施について検討する。
- 欧州からの誘客促進策として、成田・羽田からの国内線乗り継ぎ便利用やJRとの連携などをはじめ、様々な交通手段により首都圏・関西圏から誘客を促進することに併せ、免税店、多言語表記、WIFI環境の整備、欧米向け通訳案内士の育成を含む受入環境全体の向上に取り組んでいく。  
また、欧州のメディア媒体を招請し、本県の魅力向上のための情報発信を実施する。
- 県としては、フランスをはじめとした欧州への輸出に取り組む事業者に対して継続的な支援や、現地市場等の動向把握、バイヤーとのネットワーク強化に向けた取り組みを進める。まずは、欧州バイヤーを招へいたしたセミナーを開催するなどにより、県内事業者が欧州への輸出に取り組みやすい環境づくりを進めたい。また、鳥取県の食・観光・まんが等の情報発信ができるような取り組みについても、検討を進める。

## 「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券の発行とPRイベントの開催結果について

平成27年7月21日  
東京本部  
販路拡大・輸出促進課

鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で利用できるプレミアム付き商品券の発行PRイベントについて報告します。

- 1 開催日時 平成27年7月14日(火) 12:00~13:30
- 2 開催場所 とっとり・おかやま新橋館
- 3 開催内容 プレミアム商品券の説明、両県知事によるPR漫才、ココリコ遠藤のとっとりふるさと大使の就任、ココリコ遠藤・千鳥の「ももてなし応援団」の任命式、公約(応援内容)発表等
- 4 参加者 鳥取県知事 平井伸治、岡山県知事 伊原木隆太、ココリコ遠藤(吉本興業(株)所属)、千鳥(吉本興業(株)所属)
- 5 メディア取材(合計 30社) NHK、日本テレビ、TBSテレビ、テレビ朝日等
- 6 商品券の販売額(7月14日付) 940千円
- 7 お客様の反応
  - ・開店と同時に複数冊購入し商品購入されていた。
  - ・ココリコ遠藤から直接購入しようと待ち受けしていたお客様もいた。
  - ・ランチなどで頻繁に利用するお客様から、非常にお得感のある商品券との評価。
  - ・フルーツのお中元ギフトに商品券を利用するなど、5000円程度の比較的高価格帯商品の購入にも好影響を与えていた。

### 【参考】 「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券について

(1) 商品券販売・利用可能期間 平成27年7月14日~平成28年1月13日

(2) 発行する商品券の内容

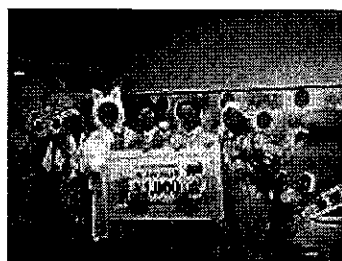
金額： 6,000円綴(5,000円で販売)プレミアム率20%

商品券の内容： 1,000円券×6枚(発行部数 1万枚)

販売・利用可能場所： 「とっとり・おかやま新橋館」



平井知事・伊原木知事によるPR漫才



出演者集合写真



「プレミアム商品券」販売風景

